

令和5年度

公益財団法人目黒区芸術文化振興財団事業計画書

自 令和5年4月 1日

至 令和6年3月31日

公益財団法人目黒区芸術文化振興財団

令和5年度公益財団法人目黒区芸術文化振興財団事業計画

[取組方針]

令和5年度（2023年度）は、平成23年度の公益財団法人移行から13年目を迎えます。また、文化ホールと美術館の指定管理は4期目の5年目となり、指定期間の最終年度を迎えます。

両施設の管理及び事業運営に当たっては、区民の芸術文化活動の拠点としての役割を十分認識し、区民に身近な施設としてさらに親しまれるよう、施設の安全確保の徹底と利用者の更なる利便性の向上が求められています。

令和5年11月には、大・小ホールの安全性と機能を向上させるため、舞台機構の更新工事等が行われる予定となっており、また、美術館については5年度中に「新たな目黒区民センターの基本計画」が策定される予定であることから、次代に向けて新たな美術館像が確立できるよう、目黒区とより具体的な意見交換を進めてまいります。

新型コロナウイルス感染症の終息はいまだ不透明な状況ですが、国や業界団体等が策定するガイドラインなどを踏まえ、施設利用者や公演主催者等の理解のもと感染症対策を徹底したうえで、これまでの事業運営での経験を活かしつつ、区民の皆様に良質な芸術・文化に触れる機会や活動の場を提供するという当財団に課された役割を果たしていかなければなりません。

5年度は、ウイズコロナ・ポストコロナを見据えて、インターネットを活用した映像等の配信やSNSを活用した情報発信などに継続的に取り組むとともに、直接的な芸術文化体験が持つ重要性を踏まえ、優れた実演芸術や美術作品展示の鑑賞機会の提供を行うほか、アウトリーチ事業の充実を図るなど、より多くの区民の皆様に芸術文化に親しむ機会が提供できるよう努めてまいります。

また、計画的な人材育成と就労環境の整備を進め、職員一人ひとりの資質向上と組織の活性化を図るとともに、自主財源の確保や効率的な事業執行に取り組み、持続可能な財団経営に向けて、区の支援も得て経営基盤の強化に努めてまいります。

今後も、目黒区の芸術文化振興の一翼を担う公益法人として、誰もが身近な地域で芸術文化に親しみ、心豊かに暮らすことができるよう、区をはじめ関係団体との連携・協力のもと、財団一丸となって事業を展開し、区民の皆様の期待に応えてまいります。

目黒区文化ホール

1 事業方針

(1) 鑑賞事業

令和5年度は、4年度の開館20周年事業の取組で得られた経験を今後の活動の糧にするとともに、区民に良質な芸術・文化に触れる機会を提供するため、他館等との連携を図る事業など、より多様で魅力のある公演やイベントを実施します。

ア 主催事業

フレッシュ名曲コンサートや目黒区美術館との連携事業など計7事業

イ 共催事業

オペラ公演など計8事業

(2) 地域の芸術文化・支援事業

豊かで創造性のある区民文化の醸成や魅力のある地域づくり、そして安全・安心なホールを目指してまいります。また、地域の多様な芸術文化団体の活動等に対して、施設利用や広報等の支援を行います。

ア 主催事業

未来の音コンサート（2007年～）など計3事業

イ 共催事業

パーシモン芸術文化ネットワーク（5団体）など計17事業

(3) 体験・普及事業

次代を担う子どもたちの育成事業や¹社会包摂の視点も踏まえた事業等に積極的に取り組みます。これまで目黒区立小・中学校を対象に実施してきたアウトリーチプログラムは、4年度に引き続き、区内都立・私立学校を対象に加え、芸術文化に身近に触れる機会の更なる充実を図ります。

ア アウトリーチプログラム：2事業

区立小中学校（2006年～）、区立幼稚園、区立こども園（2016年～）、東京医療センター（2013年～）、区立特別養護老人ホーム（2015年～）、心身障害者センター（2016年～）

イ ワークショップ事業：2事業

¹社会包摂：芸術文化に備わる特性を活かし、社会的に孤立や困難を抱えている人々に対して社会参加の機会を開き、社会的課題の緩和や解決に取り組む継続的活動

(4) 指定管理事業（区との基本協定に基づき財団が実施する事業）

これまでの経験等を活かし、クラシック等の裾野を広げることを目的に、日本のバンドネオンの第一人者である「小松亮太タンゴアンサンブル」を実施します。

(5) 受託事業

ア 目黒区文化祭

目黒区文化団体連合会や区と協力しながら、邦楽、民謡、日本舞踊をはじめ様々な芸術文化団体の活動を支援します。

イ めぐるオータムアート

目黒区美術館と連携し、音楽と美術を合わせたプログラムを実施します。

(6) 貸館事業

区民をはじめ多くの皆様にご利用いただく貸館事業については、常に公平・公正や安全・安心に留意しながら、施設の貸出しと設備の保守管理に努めてまいります。

また、利用者の安全性や利便性の向上のために大ホール客席の手すり新設工事やトイレの洋式化工事を行います。さらに、大ホールの舞台機構部品交換や小ホールの舞台照明調光盤工事等に伴い2か月間の休館になりますので、利用者にご理解・ご協力をお願いしてまいります。

2 運営方針

(1) 開館20周年にあたる4年度は“「きっかけ」のその先へ”をテーマに、これまで当館の事業を通して生まれた芸術文化への興味や関心から、より充実した鑑賞や体験につなげられることを目指し事業を実施しました。

また、事業を通じて、大ホールの響きの良さなどのハード面の特性の周知にもつながりました。

5年度も、4年度のテーマ等を継続し、芸術文化の鑑賞、創造、発信の場として、また地域の芸術文化活動団体とも協働していくことで、地域に根差したホールとしてコミュニティに寄与する取組を進めます。

(2) 各種事業の実施に当たっては、各年代層の要望に沿っていることや公演のジャンルに偏らないことに留意します。

また、他のホールや実演芸術団体と連携・協力し、ホールの特性を活かした創造性・発信性のある事業を実施するとともに、区民の芸術文化に対する関心を高め、活動意欲が発揮できる機会を提供するために参加型事業の充実に努めます。

(3) 「アウトリーチプログラム」については、区、教育委員会ははじめ、実施する施設との連携を密にしながら、環境や対象に応じたプログラムを実施し、区民が身近な場所で生のパフォーマンスを鑑賞する機会を提供します。

特に、児童・生徒を対象にしたプログラムでは、区立小・中学校だけでなく、4年度に引き続き、区内の高校や私立学校にも対象を拡大し、芸術性の高い音楽や演奏家との交流を通じて地域の子どもたちの豊かな感性が育まれるように取り組みます。

なお、派遣するアーティストは、ホールでコンサートを実施した演奏家に依頼するなど、引き続きホール活動とも連携した運営に努めます。

(4) 「目黒区文化祭」、「めぐろオータムアート」については、行政（目黒区、東京都）や美術館との連携を図り、区民の幅広い芸術文化活動の支援に努めるとともに、区民が芸術文化の活動に出会い、楽しむことのできる機会を提供します。

(5) 4年度の開館20周年事業では、ホールの魅力やホールの活動・事業を広く周知し、幅広い年代が利用するツイッターやフェイスブックなどのソーシャルネットワークやメールマガジンでの情報発信など、様々な媒体を活用し、効果的かつ効率的な情報発信に努めた結果、多くの反応が得られました。

また、公式YouTubeチャンネルで20周年記念公演の映像を公開することで多様な鑑賞機会を提供し、併せてホールの周知も図りました。5年度も引き続き、オンラインでの広報や、コンテンツの充実に努めてまいります。

(6) 事業内容の充実のため、区の補助金や東京都からの助成金等の活用を図るとともに、法人及び個人からの賛助会員等の拡大など、積極的に収入の確保に努めてまいります。

また、収支のバランスにも留意しながら、区民等から信頼される堅実な運営に努めてまいります。

(7) 文化ホールの行政と財団による利用率は、これまでの一般利用の実績や新型コロナウイルス感染症の影響による利用料金の徴収など、今後の収益の見通しも踏まえ、大ホールが概ね25%程度、小ホールが概ね15%程度を目途に運営してまいります。

また、ホールの利用率の向上のため、周知方法等の工夫に努めます。

目黒区美術館

1 事業方針

(1) 展覧会事業

収蔵品を活かしながら、他館と協働して開催する展覧会や目黒ゆかりの作家を紹介するなど、区民に親しみやすい内容の事業を展開します。

また、観覧料の区民料金等については、引き続き実施できるよう区と協議してまいります。

ア 自主企画展 3 展

個性ある企画を通して多様な作品を紹介する展覧会

イ 指定管理事業（区との基本協定に基づき財団が実施する事業）

美術館所蔵作品展、めぐろの子どもたち展

ウ 受託事業展

めぐろオータムアート、目黒区文化祭など

エ 年間開館日数

区展を加え 177 日間

オ 年間入館者数目標

5 展（自主企画 3、指定管理 2）概ね 2 万 4 千人

(2) 教育普及事業

美術の普及や美術作品、地域の文化財への理解を深めるとともに、「観る」、「創る」、「考える」などの活動や交流を通して感性が育まれる事業として、例年行っている夏・春のワークショップやトイコレクションプログラムをはじめ、展覧会に関連したワークショップ、ギャラリートツアー、講演会等を実施します。

(3) 調査研究

目黒に息づく様々な文化資源の調査研究を深めてまいります。

また、個々の学芸員の専門性を活かしながら、引き続き、美術館の事業や運営を見据えた、より実践的な学芸活動を進めてまいります。

こうした調査研究の成果を土台にして、魅力ある企画展を催し、美術作品の豊かな表現を区民に伝えてまいります。

(4) 区民等の芸術文化活動の支援

区内美術団体に対して、本館及び区民ギャラリーを提供するなど、区民の芸術文化活動を支援します。

美術館や地域の活性化を図るため、地元商店街、区内の美術館や博物館などとの協力関係の構築に努めるとともに、区や他団体等との連携を図り芸術文化活動の推進に努めます。

(5) 区民ギャラリーの運営

公平で公正な利用に供するため、抽選会の運用に留意します。

また、展示に関するアドバイスをはじめ、作業の安全性を確保し、区民等の創作の発表や交流の場として区民の誰もが気軽に利用できるよう、適正な運営に努めます。更に、PR等を工夫しながら新規利用者の増加を図ってまいります。

2 運営方針

(1) 新たな目黒区民センターの基本構想(令和3年10月策定)で示されている「美術館が発信してきた芸術文化の香りを新たな目黒区民センターの敷地に広げる」という役割を念頭に置き、より一層区民に親しまれるよう取り組んでいきます。

(2) 事業の実施にあたっては、経費の抑制に努めながら、予め作成した年間事業スケジュールに沿って実施します。

また、他団体助成金の獲得など収入の確保に積極的に取り組むとともに、事業の効果や経済性も考慮しながら事業ごとの収支バランスにも留意してまいります。

(3) 広報の一環として、ホームページのほか各種ソーシャルネットワークサービスを活用した情報発信について、配信頻度を増やし、送信時間に配慮するなどより有効性が増すように努めてまいります。

また、YouTubeチャンネル上に、展覧会や催事に関連した動画を公開し、PRに努めます。

(4) ギャラリーツアー等は、校長会や図工部会など学校教職員への趣旨説明を丁寧に行いつつ、協議の上、子どもの鑑賞活動機会の拡充を図れるよう努めます。

(5) 「めぐろオータムアート」等の実施にあたっては、文化ホールや区の芸術文化推進事業と連携を図り、区民の幅広い芸術文化活動の充実に寄与するよう努めます。

令和5年度 目黒区文化ホール 事業計画

I 自主事業

1 鑑賞事業（15事業・67公演）

（単位：円）

区分	事業・公演						支出	収入		自主財源 (収入－支出)	
	番号	時期	会場	名称(○:継続 ☆:再演 ★:新規)	内容	公演数		チケット・ 参加費等	区補助金		
主 催	伝統芸能	1	1月	大ホール	○ 新春落語	新春に行う恒例の落語公演	1	3,383,100	3,831,750	0	448,650
	クラシック	2	3月	大ホール 小ホール	○ フレッシュ名曲コンサート	新進気鋭のアーティストをソリストに迎えるクラシックコンサート。本公演前に来場者拡大を目的としたプレコンサートを実施。助成金を活用し、事業を実施。	2	7,364,600	※ 6,960,600	0	△ 404,000
		3	未定	小ホール	○ 室内楽公演	著名なアーティストによる室内楽公演	2	2,220,800	1,226,400	0	△ 994,400
	ポピュラー	4	冬頃	小ホール	○ JAZZ公演	著名なアーティストによるJAZZ公演	1	879,600	560,000	0	△ 319,600
		5	年間	大ホール	★ ロビーコンサート	大ホールホワイエを活用した平日夜間のコンサート	2	417,500	168,000	0	△ 249,500
	その他	6	春	美術館	○ 美術館連携公演	美術館事業との連携公演	1	362,500	180,000	0	△ 182,500
		7	未定	小ホール	★ 大分県立美術館連携	複数館にわたって実施してきた音楽と美術に関する創作活動を紹介するコンサート	1	817,295	332,000	0	△ 485,295
					○ 次年度準備	次年度事業の準備経費		100,000	0	0	△ 100,000
	小計	7					10	15,545,395	13,258,750	0	△ 2,286,645
共 催	バレエ	1	8月	大ホール 小ホール	○ 東京バレエ団「第11回 めぐるバレエ祭り」	東京バレエ団主催による大ホール公演と小ホール等での各種ワークショップやイベント	40	37,800	37,800	0	0
	ダンス	2	7月	大ホール	☆ noism	りゅーとびあ 新潟市民芸術文化会館を拠点に活動するダンスカンパニー主催による公演	3	94,770	94,770	0	0
	クラシック	3	6月	小ホール GTホール	○ レクチャー付室内楽公演	(一社)Music Dialogue主催によるレクチャー付室内楽公演	2	11,880	11,880	0	0
		4	2月	大ホール	★ パッハ・コレギウム・ジャパン「魔笛」	Bunkamura主催によるオペラ公演	3	89,100	89,100	0	0
		5	2月	大ホール	★ オペラ「ニングル」	(公財)日本オペラ振興会主催によるオペラ公演	4	32,130	32,130	0	0
	ポピュラー	6	5月	大ホール	○ ポピュラーコンサート	東京労音主催によるポピュラーコンサート	1	70,200	70,200	0	0
	伝統芸能	7	5月	小ホール	☆ 高橋竹童	サウンドポート主催による津軽三味線の公演	1	17,280	17,280	0	0
		8	春、夏、 秋	大ホール	○ 落語	年3回の恒例の落語公演	3	167,670	167,670	0	0
小計	8					57	520,830	520,830	0	0	
合計	15					67	16,066,225	13,779,580	0	△ 2,286,645	

※（公財）東京都歴史文化財団からの助成金360万円（予定）を含む。

2 地域の芸術文化・支援事業（20事業・25公演）

（単位：円）

区分	事業・公演						支出	収入		自主財源 (収入－支出)	
	番号	時期	会場	名称(○:継続 ☆:再演 ★:新規)	内容	公演数		チケット・ 参加費等	区補助金		
主 催	地域支援	1	4月	大ホール	○ 第12回避難訓練コンサート	公演中に避難訓練を行う企画	1	551,000	0	551,000	0
		2	冬頃	区民キャンパスプラザ	☆ 気仙沼漁師カレンダー展	友好都市宮城県気仙沼市の漁師に着目したカレンダーの展覧会	1	150,000	0	0	△ 150,000
	新進支援	3	8月・未定	小ホール	○ 未来の音コンサート	新進アーティストのクラシックコンサート	2	1,388,760	840,000	0	△ 548,760
	小計	3					4	2,089,760	840,000	551,000	△ 698,760
共 催		1	4月・3月	大ホール	○ 全国舞踊コンクール(決選・予選)	東京新聞主催によるバレエ・舞踊・邦舞のコンクール	1	71,000	0	0	△ 71,000
		2	6月	大ホール	○ 全国舞踊コンクール入賞者アンコール公演	東京新聞主催によるバレエ・舞踊・邦舞のコンクール入賞者による公演	1	5,000	5,000	0	0
		3	6月	大ホール	○ 東京新聞児童舞踊合同公演	東京新聞主催による児童舞踊部門だけの公演	1	1,000	1,000	0	0
		4	4月	大ホール	○ 東山オーケストラ演奏会 *	目黒区東山オーケストラ主催による演奏会	1	0	0	0	0
		5	5月	中目黒GT プラザホール	○ 東京インターアーツ目黒コンサート	東京インターアーツ目黒主催による現代音楽と邦楽のコンサート	2	600	600	0	0
		6	1月	大ホール	○ 目黒区民交響楽団 定期演奏会 *	目黒区民交響楽団主催による定期演奏会	1	7,000	7,000	0	0
		7	6月	大ホール	○ 目黒吹奏楽団 定期演奏会 *	目黒吹奏楽団主催による定期演奏会	1	0	0	0	0
	団体支援	8	7月	大ホール	○ 東京マンドリン宮田楽団 定期演奏会	東京マンドリン宮田楽団主催による定期演奏会	1	36,000	36,000	0	0
		9	7月・未定	小ホール	○ 伝統文化に親しむ	(公財)北野生涯教育振興会による伝統文化公演	2	0	0	0	0
		10	3月	小ホール	○ 北野財団主催 チャリティコンサート	(公財)北野生涯教育振興会によるチャリティコンサート。公募で集まった区民が合唱団員として出演	1	3,000	3,000	0	0
		11	7月	大・小ホール	○ 第21回パーシモンはたるまつり	都立大学商店街等実行委員会主催の区民キャンパスで実施する地域イベント	1	300,000	0	150,000	△ 150,000
		12	10月	大ホール	○ めぐる童謡コンサート *	童謡の里めぐり保存会主催による童謡・合唱等のコンサート	1	10,000	10,000	0	0
		13	10月	小ホール	○ 身体で聴こう音楽会	パイオニア(株)主催による聴覚障害者等を対象としたコンサート	1	0	0	0	0
		14	2月	大ホール	★ 毎日映画コンクール	(株)毎日新聞社主催による映画コンクール表彰式	1	3,544,000	0	3,544,000	0
		15	3月	大ホール	○ めぐるクラシックセレクション *	目黒区クラシック音楽家協会主催によるコンサート	1	10,200	10,200	0	0
	新進支援	16	未定	中目黒GT プラザホール	○ Duo Project	(一社)Music Dialogue主催による若手演奏家デュオへの公開コーチング	2	1,400	1,400	0	0
	子育て支援	17	3月	小ホール	○ 親子のためのふれあいコンサート	東京ユニバーサル・フィルハーモニー管弦楽団主催のファミリーコンサート	2	10,000	10,000	0	0
小計	17					21	3,999,200	84,200	3,694,000	△ 221,000	
合計	20					25	6,088,960	924,200	4,245,000	△ 919,760	

* パーシモン芸術文化ネットワークとは、芸術文化活動を通して活動団体の交流・連携・協力を深め、目黒区の芸術文化の振興を進めることを目的とした団体（目黒区東山オーケストラ、目黒区民交響楽団、目黒吹奏楽団、童謡の里めぐり保存会、目黒区クラシック音楽家協会）

3 体験・普及事業（4事業・53公演）

（単位：円）

区分	事業・公演						支出	収入		自主財源 (収入－支出)	
	番号	時期	会場	名称(○:継続 ☆:再演 ★:新規)	内容	公演数		チケット・参加費等	区補助金		
主催	ワークショップ	1	6月・7月	小ホール	○ 子ども向けワークショップ(演劇、ダンス)	子どもを対象にしたワークショップ	3	1,774,800*	1,539,000	0	△ 235,800
		2	未定	小ホール GTホール	☆ 大人のための演劇ワークショップ	大人を対象にしたワークショップ	1	1,059,700	100,000	0	△ 959,700
	アウトリーチ	3	年間	小中学校等	○ アウトリーチプログラム	区内小中学校等にアーティストが出向き、子どもたち等との交流等を実施	39	6,310,500	0	4,600,000	△ 1,710,500
		4	秋以降	中学校	★ 区内中学校吹奏楽部への事前指導等	ばんだウインドオーケストラと区内中学校吹奏楽部とのコラボ演奏会(次年度実施予定)に向けた事前交流及び直接指導	10	1,205,960	0	0	△ 1,205,960
合計	4					53	10,350,960	1,639,000	4,600,000	△ 4,111,960	

* (公財)北野生涯教育振興会からの協賛金140万円(予定)を含む。

合計（公演等事業経費：1 + 2 + 3）	32,506,145	16,342,780	8,845,000	△ 7,318,365
-----------------------	------------	------------	-----------	-------------

4 自主事業運営経費

（単位：円）

区分	名称(○:継続 ☆:再演 ★:新規)	内容	支出	収入		自主財源 (収入－支出)
				チケット・参加費等	区補助金	
自主事業 運営経費	○ チケット手数料及び委託	チケット購入に係る手数料及び委託	914,240	0	500,000	△ 414,240
	○ 都立大学駅前ポスター掲出委託	都立大学駅前に設置している看板掲出料	486,400	0	458,600	△ 27,800
	○ ボランティア活動の支援	ホールの事業等のスタッフとして活動を支援	21,500	0	0	△ 21,500
	○ 賛助会運営	ホール賛助会(法人・個人)の運営	35,500	783,000	0	747,500
	○ アートレター	財団情報紙である「アートレター」の作成・配布	5,947,760	862,400	2,098,800	△ 2,986,560
	○ その他全体広報	ホール全体の広報等	100,000	0	0	△ 100,000
	○ 鑑賞機会の多様化に伴う事業	事業に係る動画配信費用	1,320,000	0	1,320,000	0
	★ 友好都市との事業における調査	友好都市との関わりをもつ事業実施における準備費用	200,000	0	0	△ 200,000
合計			9,025,400	1,645,400	4,377,400	△ 3,002,600

(39事業145公演)	総合計（自主事業経費：1 + 2 + 3 + 4）	41,531,545	17,988,180	13,222,400	△ 10,320,965
-------------	---------------------------	------------	------------	------------	--------------

II 指定管理事業

(単位:円)

区分	事業・公演					公演数	支出	収入		自主財源 (収入－支出)
	番号	時期	会場	名称(○:継続 ☆:再演 ★:新規)	内容			チケット・ 参加費等	指定管理料	
指定管理事業	1	10月	大ホール	★ 小松亮太タンゴアンサンブル	指定管理事業として財団の創意工夫を生かしたコンサート	1	5,291,400	3,209,775	1,208,058	△ 873,567
合計	1					1	5,291,400	3,209,775	1,208,058	△ 873,567

自主事業経費 (I) + 指定管理事業費 (II)	46,822,945	21,197,955	14,430,458	△ 11,194,532
---------------------------	------------	------------	------------	--------------

公演等事業経費 【自主事業公演等事業経費(1+2+3)+指定管理事業費(II)】	37,797,545	19,552,555	10,053,058	△ 8,191,932
--	------------	------------	------------	-------------

III 受託事業

(単位:円)

区分	事業・公演						支出	収入		自主財源 (収入－支出)
	番号	時期	会場	名称(○:継続 ☆:再演 ★:新規)	内容	公演数		チケット・ 参加費等	区委託料	
受託事業	1	春・秋	大・小ホール等	○ 第58回目黒区文化祭	日舞、合唱、民踊、華茶道、邦楽、洋舞、吟剣、自主グループ、演劇、謡曲、民謡、音楽、ユネスコの各団体による公演	14	1,902,843	0	1,902,843	0
	2	秋頃	区内施設等	○ めぐるオータムアート	目黒区の特徴を生かし、「聴く、観る、知る、創造する、育てる」の視点から、たくさんの人に芸術文化に接し、親しんでもらうためのイベント	2	776,000	90,000	686,000	0
合計	2					16	2,678,843	90,000	2,588,843	0

全事業合計 【自主事業経費 (I) + 指定管理事業費 (II) + 受託事業費 (III)】	49,501,788	21,287,955	17,019,301	△ 11,194,532
---	------------	------------	------------	--------------

令和5年度 目黒区美術館 事業計画

【自主事業・展覧会】

(単位:円)

NO	展覧会名	期間(予定)	内容	支出	収入		自主財源 (収入-支出)
					展示事業等	区補助金等	
1	ベルギーと日本 光をえがき、命をかたどる	4月29日(土祝) ～6月18日(日) (44日間)	戦前、画家や彫刻家たちの主な留学先はフランスでした。しかし数は少ないですが、留学先にベルギーを選んだ者たちがいました。画家の太田喜二郎と児島虎次郎、彫刻家の武石弘三郎の3人です。 戦前の日本におけるベルギー美術の受容を紹介する本展は、当館を含め3つの美術館を巡回します。当館は滞欧米期の画家の作品を収集方針として太田の作品を収蔵しています。巡回先の新潟県立近代美術館は郷土作家として武石を収蔵作家とし、高梁市成羽美術館は地元出身の画家である児島を館をあげて顕彰しています。この度は、3館が連携し、この分野における各館の作品収集、調査・研究の成果を展覧会とおして紹介します。 なお、本展は(一財)地域創造の助成事業となります。	12,500,000	2,890,000	※ 6,870,946	△ 2,739,054
2	中村直人 モニュメンタル/オリエンタル	7月15日(土) ～9月3日(日) (44日間)	中村直人(1905-1981年)は、出身地である長野で山本鼎の提唱した農民美術運動に触発され、戦前には院展を舞台に彫刻家として活躍しました。戦中には、従軍や慰問を活発に行います。戦後になると、親交のあった藤田嗣治の誘いで渡仏します。パリで絵画制作を開始し、グワッシュによる独特の作風により、同地での個展が成功を収めました。1964年に帰国しますが、以後は二科会を活躍の場とし、受賞を重ねました。中村が晩年に居を定めたのは、目黒区青葉台でした。この度は、長く同作家の作品収集や調査研究を重ねてきた、中村の生地である長野県の上田市立美術館と、晩年を過ごした目黒区にある当館の2館での開催となります。作品と資料により、中村の生涯をたどり、その素顔に迫ります。	8,320,000	1,760,000	6,560,000	0
3	広がるコラージュ展	令和6年 2月17日(土) ～3月24日(日) (32日間)	コラージュとは、フランス語で「糊付け」を意味し、画面に絵具以外の様々な素材を貼り付けて構成する絵画手法です。20世紀初頭、欧米を中心に興った前衛的な美術運動の中で見出され、それぞれ異なる意図で用いられました。日本でも、西欧の先端的な美術動向の影響を受けながら、戦後のパンリアルの作家のように、画面上に様々なものを貼り合わせ、従来の絵画表現の規制を解放しようとする実験的な試みが行われました。本展は所蔵作品の中から、コラージュによる作品および、それと同様の発想による作品を選定し、コラージュという表現の可能性と展開を紹介します。 また、本年は飯田善國の生誕100周年にあたるため、本展の内容と絡めた特集展示を予定しています。	5,982,018	835,000	147,018	△ 5,000,000
4	次年度準備経費	—	主に次年度4月開催展覧会用準備経費(ポスター、チラシ、チケット制作や通信経費等)	880,000	0	0	△ 880,000
				27,682,018	5,485,000	13,577,964	△ 8,619,054

※ 「ベルギーと日本」展については、一般財団法人地域創造からの助成金を充てます。

【指定管理事業・展覧会】

(単位:円)

NO	展覧会名	期間(予定)	内容	支出	収入		自主財源 (収入-支出)
					展示事業等	指定管理料	
1	目黒区美術館コレクション展 +秋岡芳夫全集6	10月7日(土) ～11月12日(日) (32日間)	目黒区美術館では1987年の開館以来、近代以降の、海外で学んだり、国際的に活躍をした日本人画家を中心として、目黒にゆかりのある作家・作品に焦点を当て、特色あるコレクションを形成してきました。これまで収集してきた所蔵作品の中から、人気の高い作品を中心に紹介します。	4,346,000	1,134,000	3,212,000	0
2	めぐろの子どもたち展	令和6年 1月20日(土) ～2月4日(日) (14日間)	目黒区立の幼稚園、こども園、小学校、中学校で学ぶ子どもたちが、授業中に制作した図画工作・美術・書道などの作品を展示し、子どもたちの素直な目を通して発見された驚きや、美しいものになりたいという意欲など、心の動きが豊かに表現された力作を紹介します。あわせて交流のある海外都市の子どもたちが描いた作品も展示します。	1,868,000	0	1,868,000	0
				6,214,000	1,134,000	5,080,000	0

【自主事業・教育普及】

(単位:円)

NO	事業名		時期(予定)	募集対象	回数	内容	支出	収入		自主財源 (収入-支出)
								展示事業等	区補助金	
1	ワークショップ(1)夏		7月～9月	子ども～大人	4コース程度	夏季に開催する展覧会に関連した内容を行います。	430,000	30,000	400,000	0
2	ワークショップ(2)春		令和6年 2月～3月	子ども～大人	3コース程度	美術の基本に関するテーマを設定し、美術全般についての美術講座を開催します。	350,000	40,000	310,000	0
3	目黒区総合庁舎建築ガイドツアー		4月～6月	中学生～大人	4回程度	村野藤吾設計の目黒区総合庁舎の見どころを解説する人気の庁舎建築ツアー。国内各地の村野建築ツアーなど関係する美術館等相互の広報も前年に引き続き実施します。	280,000	140,000	140,000	0
4	トイコレクション プログラム	アウトリーチ	10～11月、 令和6年2～3月	乳幼児～大人	1回	トイコレクションボランティアチームが、児童館で展開するアウトリーチプログラム。テーマとストーリーをつくり、児童館に来る子どもたちと遊び美術館を紹介します。トイの日は、美術館で実施します。				
		トイの日		乳幼児～大人	2日					
5	大人のための美術カフェ		該当する展覧会の会期中	高校生以上	複数回	平成26年度から始めた当館学芸員による、大人向けのゆるやかな美術談義。ラウンジ等で展覧会担当学芸員が担当した展覧会や美術に関するエピソードなど自由にテーマを設定してお話します。				
6	ギャラリーツアー		該当する展覧会の会期中	小中学校	複数回	区内、近隣小中学校の鑑賞教室を受け入れます。				
7	美術講座等		夏以降	高校生以上	3回程度	美術に関する連続講座等を開催します。				

※ 事業費については、主に参加料収入を充てます。

※ 各展覧会においては、関連催事を予定していきます。

※ 新型コロナウイルス感染の拡大状況に応じて、オンライン等での実施も検討します。

【受託事業・展覧会、教育普及】

(単位:円)

NO	展覧会名・事業名		時期(予定)	募集対象	回数	内容	支出	収入		自主財源 (収入-支出)
								展示事業等	区委託料	
1	めぐろオータムアート (目黒区文化・交流課と財団の共同企画)		秋頃	未定	未定	目黒界隈の建築を見るツアー「建築めぐり塾」、家族で美術と美術館に親しんでいただくことのワークショップ。パーシモンホールとの共同企画で、音楽と美術に関する催事を行います。	193,000	21,000	172,000	0
							193,000	21,000	172,000	0

《受託事業・目黒区文化祭》(区民ギャラリー)

- (1) 華茶道展: 4月 (2) 自主グループ展: 4月

《後援事業》(区民ギャラリー)

- (1) 目黒区書作家協会展: 5月 (2) 目黒区美術家協会展: 6月 (3) 目黒区美芸作家協会展: 令和6年3月

《協力事業～主催;目黒区民作品展実行委員会》

- (1) 区展(区民作品展): 9月13日(水)～24日(日) 11日間